

九

秘

天津英租界問題

時局宣傳資料

昭和十四年七月十三日
內閣情報部



露光量違いにより重複撮影

●注 意

- 一、本書は時局宣傳の参考資料として主管廳に於て起草し、内閣情報部に於て調査の上編集したるものなり。
- 二、本書の目的は關係官の職務遂行上の参考たらしむるに在るも、内容は「秘」に屬するものなるを以て、秘密保持に關しては特に注意を要す。
- 三、本書は情勢の變化に伴ひ、時々改訂せらるゝことあるを以て、改訂版を受領せば速に新資料と差換へ、舊資料は焼却するものとす。
- 四、本書は職務上利用すべきものなるを以て、異動等の場合には必ず後任者に引繼ぐべきものとす。

目 次

一、はしがき	一頁
二、英租界の敵性	三
三、封鎖の原因	三
四、封鎖實施後の天津租界	九
五、英政府の態度	二一
六、我方の態度	三
七、租界問題解決の方法	一四
八、英國側の宣傳	一五
九、英帝國の弱點	一七
一〇、天津事件悪化の場合	二二
一一、米、佛、支、蘇の態度	二四

目次

一、はしがき	一頁
二、英租界の敵性	二
三、封鎖の原因	三
四、封鎖實施後の天津租界	九
五、英政府の態度	二一
六、我方の態度	二二
七、租界問題解決の方法	二四
八、英國側の宣傳	二五
九、英帝國の弱點	二七
一〇、天津事件悪化の場合	三二
一一、米、佛、支、蘇の態度	三四

露光量違いにより重複撮影

一二、租界問題に因を發する反英運動……………二
……………三

天津英租界問題

内閣情報部

一、はしがき

天津租界問題に關する東京會談の重要性はどこにあるか。これを端的に言へば、
刻下の支那事變に對し、英國が我が日本に公然と敵對するか否かの判定を下す、
最後の土壇場であるといふ點にあると言へよう。つまり、蔣介石政權を背後で操
つり抗日戰を續けさせてゐた覆面の英國が、この東京會談で愈々その覆面を取つ
て、正體を暴露しなければならぬ破目になつたのである。この覆面の怪物が、
日本に敵するのか味方するのかを全世界注視の中に全身を露出して、判定を受け
るのである。若し英國が覆面を取つて審判臺に立つても、なほかつ臆面もなく將
來も抗日蔣政權を援助し、我が帝國の國是たる東亞再建の大業を妨害するといふ

二
のであれば、結論は極めて簡単である。即ち日本帝國は、これに對し斷乎として大鐵槌を打ち下すのみである。かうなつては明瞭なる敵である以上大英帝國であらうとなからうと最早問題ではないのである。之に反し、彼が東洋に於ける指導國家たる日本の位置と力を認めて、共に新東亞建設に協力の誠意を披瀝すれば、勿論これに鐵槌を加ふるの必要はない。

今回の東京會談は實に、我が日本帝國が過去二年國力を擧げて遂行し來た聖戦がよく成果を收め得るか否かを決する鍵なのである。この意味で、全國民は會談の成行きを重視すべきである。

二、英租界の敵性

支那事變以來天津英租界は英帝國の名に隠れ敵性を發揮しつゝあつた。その事例を擧ぐれば次の如きものがある。即ち日本軍の作戰行動を無電を以て香港、重慶に通報し、北支に蠢動する遊撃隊に便宜を與へてゐた。臨時政府要人の暗殺を

企圖する不逞分子を匿し、天津に於ける戰慄の根源をなしてゐた。北支共產匪に對するコミンテルンの資金供給地點をなしてゐた。北支聯銀券の偽造使用、北支金融攪亂工作の策源をなしてゐた。舊法幣の流通を援護し、北支に於ける物價を昂騰せしめ、大衆の生活に脅威を與へてゐた。租界内に於て抗日言論教育の行はれつゝあるのを黙認してゐた。

これ等の事實に對し、我軍は今日迄隱忍に隱忍を重ねつゝあつたが、自衛と生存の必要上何時かは斷乎たる處置に出でざるを得なかつたことは、現地を中心とする朝野の輿論に基づく周知の事實であつたのである。

三、封鎖の原因

偶々中國聯合準備銀行經理兼天津海關監督程錫庚氏が、本年四月九日抗日支那人のため英租界に於て暗殺せられ、その犯人引渡しに端を發したイギリス租界問題に關し、わが總領事館當局の條理を盡した最後の外交交渉に於ても何等の誠意

を示さざるのみならず、依然租界をして抗日容共分子の温床たらしめんとするの意圖明白化し、迷妄度し難きものである。わが軍當局では六月十三日午後零時三十分重大聲明を行ひ所信を中外に聲明した。その内容は

「去る三月より四月にかけて、わが軍下士官兵三名は天津市内に於て國共側テロ團の毒刃の下に倒れ、又程海關監督は英租界内に於て不穩分子の兇弾の下に、東亞建設の尊き犠牲となつた。而してテロ團一部のうち四名は捕はれて工部局に抑留せられ、その犯跡はわが方の調査により一點の疑ひもない。現場實證に立會つた英租界當事者も當時之を確認したのである。

軍當局としては抗日テロ團の執りつゝある實力的行動が、無辜の支那人及び第三國人に及ぼす影響の大なることを考へ、隱忍自重忍び難きを忍んで、英租界當局との間に外交的折衝によつて犯人の支那側當局に對する引渡しを要求し、且つ北支特に天津市内の治安維持に協力するやう要請したのに拘らず、英租界當局は再三遁辭を設けてその回答を遷延して際限がなかつた。遂に痺れを

四

切らし、六月七日を期限とし諾否何れとも回答をなす様要求した。英租界も問題の解決を回避し得ない破目となり、六日次の如き回答を正式に行つた。則ち第一には日本側は程氏狙撃犯人たる藍外三名の支那側引渡しを主張するも、彼等の犯行に就いては單なる自供あるのみで、他に何等物的其の他の有力な證據の提示がない故、目下の處引渡し要求には應じ兼ねるとして、狙撃犯人の引渡し要求を全面的に拒否した。第二には今回の事件發生前、英租界内に於て爆彈携帶等の廉で英租界側で逮捕監禁してゐる第九路軍參謀長外一名は支那側に引渡す。此の引渡しは彼等が前記藍外三名の上官故、その取調べの結果藍等に關する更に有力なる證據を、發見し得る可能性ありと見られると稱し、現在までわが方には全然通告なきことにして、且つそれが事實參謀長なりや否やも疑はざるを得ざることを申出でた。第三には英租界工部局には他に十數名の抗日分子を逮捕監禁中だが、これらの者に就いては此の機會に情狀により之を逐放、其の他適當の措置を講ずるとして如何にも微溫的な言辭を弄してゐる。第四には將來

の英租界内抗日分子取締に對しては、近く嚴重なる布告を發すると共に英租界内の警備を嚴重にし、これら不穩分子の策動を徹底的に彈壓する意向であると申してゐる。

六

この内容はわが方で再三再四協力を要求してゐる問題であるが、只表面上のみで何等實行してゐないのである。以上は何れも英獨特の老獪なる外交手段と見られる。わが方の要求は云ふ迄もなく、斯様に曖昧な今後の調査を俟たなければ、罪性も明らかでない様な一般的不逞分子ではなく、現に皇軍の勇士を闘討にし、又臨時政府要人を暗殺した犯人の引渡しであり、これを端的に拒絶する以上、最早や回答無意義と云ふことになる。かくの如く明々白々の犯人を庇はんとする英當局に、誠意ある協力を求めたところて所詮無駄の語で、この態度こそ該租界をして益々陰謀テロなど凡ゆる抗日策謀の温床たらしめる所以である。假令將來犯人引渡しの際を認めたところで、今回の如き明瞭な事件が適用せられぬやうな原則は、一片の空文に過ぎない。軍はこれ以上押問答

を繰り返すことの徒勞を知つて勸忍袋の緒を切つた。軍は東亞新秩序建設及び北支明朝を妨害する凡ゆる陰謀と、詐略の巢窟たるイギリス租界を他の地域より隔絶するため、適當の措置を執ることにした。尙ほ既に當地の特殊事情を理解し、わが方に協調的態度を示しつつあるフランス並びにイギリス租界内に在住する獨米その他第三國人、及び善良なる支那人がこの措置に卷添へを喰ふのは遺憾千萬であるから、なるべく速に租界外に居住を移さんことを希望し、なほ殘留するの已むなき事情にある者は、迷惑でも諦めて貰はなければならぬ。而斯くの如き隔絶は現情勢に於て軍の任務達成上絶對必要な最小限度である。而して本事態は犯人引渡し拒絶を契機として惹起せられたものであるが、これは橋の一面であつて、從來に於けるイギリスの援蔣政策に對する日本朝野の憤激が、その形式によつて反撥したものである。問題は單なる犯人引渡しを以て納まるべき性質のものではない、軍はこれによつてイギリスの援蔣態度に猛省を求めると共に、天津にあつてイギリス租界が抗日共產分子を庇護して、彼等に安

全感を與へ、法幣を支持し、聯銀券の流通を阻害し、物資の賣惜しみにより物價の騰貴を促進し、或は不逞分子の無線使用を黙認する等、金融經濟、思想的攪亂政策の根絶を要求するものである。従つてイギリス租界當局が百八十度の轉換により北支の新情勢を認識し、衷心より日本と提携し、東亞の新秩序建設に協力するに至るまでは銖を收めない。

と云ふものである。

天津軍當局では右發表と同時に布告を發し、日華兩文を以て日本租界並びに華街に一齊に掲示し、天津に於ける抗日共產分子の活動を禁止するため、六月十四日午前六時以後イギリス、フランス租界に通ずる道路は六時より二十四時に至る間萬國橋を、六時より二十二時に至る間山口街、旭街、芙蓉街、英國競馬場、泰安路、中街の往復を許す以外には、何人と雖も通行を許さないこととした。

わが現地當局では、今回の英租界問題に對して斷乎強硬態度を以て臨むこととなつたが、わが方の方針としては英國側が檢問檢索實施前、即ち十四日午前六時

以前に於て、當方の要求たる程錫庚氏狙撃犯人引渡しに應ずる場合には、檢問檢索は實施しない。若し實施後に至り犯人引渡しを應諾するも斷乎これを峻拒し、英當局が全面的に態度を改めるまでは方針を變更しない。今回の檢問檢索及び白河航行船舶に對する檢査は、英國側の反省あるまでは長期間に互つて決行することとした。

かくして十四日午前六時斷の時は遂に來た。

軍は二月以來今日あることを豫期して、萬國橋が通れなくなつた場合の用意として伊太利租界に日本橋を架設し、新興路を租界側に擴張し、檢問所を新設し高壓電流線を租界の周圍に張り繞らし、萬端の準備を完了して斷乎たる決意を以て交渉したのであつたが、彼等は恫喝と思ひ込んで多寡をくゞつてゐたのである。

四、封鎖實施後の天津租界

十四日午前六時より緊張裡に實施せられた天津英佛租界の徹底的隔絶は、天津

は勿論全世界に一大センセーションを惹き起しつゝある。然し封鎖の實施は軍の周到なる準備と日支官民並びに理解ある第三國人との協力によつて、極めて整然と行はれつゝある。一日平均三十萬の通行者のあつた萬國橋も、今日は閑散で唯檢問・檢索所前に通行者の行列があるのみである。英租界内はひつそり閑として人影も見えない位である。

租界隔絶の第二日、十五日の午後競馬場道檢問檢索所に於て、イギリス兵は突如武装デモを行ひ、一時非常な緊張の空氣が漲つたが、わが方の適切なる態度と斷乎たる決意に恐れをなし對峙四時間にして彼等は退却した。

英租界内住民の苦惱は日につのるばかりで、如何に彼等が表面強がりを唱ふるも心は見えずいてゐる。

軍は益々檢問檢索を強化し、十九日午後十時に至つて租界を包圍する電線全正面に電流を通ずることとした。これは全く無益な犠牲者を出さないためにとつた手段である。

五、英政府の態度

日本の態度の強硬なのに今更ながら驚いた英當局は、十三日チェンバレン首相司會の下に閣内外交委員會を開いて對策を協議し、急遽重光駐英大使の來訪を求め、犯人について新事實を發見したから犯人引渡し問題を再考したい。ついでに封鎖は一先づ延期されたいと申出でをなし、一方クレイギー駐日大使並びにジャミーソン天津總領事に訓令を發し、仲裁委員會の設置方を希望し、わが方の態度の緩和に躍起となつて努めてゐた。

一方その宣傳機關を利用し、恰も日本軍が非人道的行爲を爲しつゝあり、日本は本事件に乗じて極東に於ける第三國權益一切を奪取するが如き牽強附會の宣傳を行ひ、事件の真相の把握、正當なる觀察を困難ならしむるが如き惡辣なる宣傳を行ひつゝあつたが、わが毅然たる態度に最近稍々態度を改むるに至つた模様である。

かくして英國政府は事態の遷延を許さず慎重審議の結果、遂にわが國に本問題解決のために會談を申出て來つたのである。

六、我方の態度

今回英國の申出により東京において日英會談を開くことゝなつたが、右は天津における局地問題を主とするもので、現地における治安維持並びに軍の生存上必須の事項につき、現地英國側の態度變換を求めんとするものである。しかし敘上の如き現地英國側の態度變換は、畢竟英國の今次事變に對する根本的認識並びに、現事態に即應する如く態度の是正を見ざる限り、その實現は不可能であつて、こゝに本會談の重大性が強調せらるゝ所以がある。さきに現地陸軍當局が自衛上緊急の必要に基づき、英租界に對し斷乎たる措置を執るに至つたことは周知のことであるが、帝國陸軍中央當局としては出先軍當局今次の適切妥當なる措置に對し、積極且全面的にこれを支持しつゝある次第である。然るに英國側においては帝國

の措置に對し、或は英國の正當なる在支權益をも全面的に排除せんとするが如く誣ひ、或は更にこれを他の第三國權益にまでも及ぼさんと企圖しあるかの如く宣傳しつゝあるが、今回軍が直接に目標とするところは、公然援蔣的態度を繼續し、多分に敵性を發揮してゐる現地英國側を對象とするもので、現にわが軍に協力し或はわれに好意を表しつゝある他のいかなる第三國に對しても、絶対に他意なきは勿論である。要するに本事件は事件自體としては左程大問題の如く見えないが、實は支那事變の本質に觸れる問題であつて、現地當局に於ては治安確保の見地から、英租界當局の抗日分子の援助庇護並びに我が通貨政策に對する妨害の如き、援蔣反日態度を拋棄せしめんことを期してゐる次第である。本問題が解決すれば、北支に關する限り事變は半ば解決したと稱するも過言でないのであつて（ソ聯邦の使喚する共産軍の策略を封ずることの緊切なることは勿論である）、英租界を現状の儘放置せんか、北支治安恢復の如き百年河清を待つが如きものである。

七、租界問題解決の方法

一四

抑、租界問題解決の方法には大體四つの場合が考へられる。

第一は 實力による租界の支那側への接收である。

第二は 平和的方法を以てする租界の支那側への回収である。これは中央政權成立後に帝國の援助の下に、支那側によつて行はるべきものと考へる。但し第三、第四の場合と雖も、情勢の悪化次第によつては茲に迄進展することが豫想せられる。

第三は 租界當局をして我方に順應せしむること、慾を言へば百八十度の轉向を爲さしめ、全面的に我に協力せしめる。

第四は 租界を封鎖又は隔絶して外部との交通連絡を遮斷し、抗日的策動の餘地なからしむること。

今回の場合は、現地當局が治安の確保と軍の存立の必要上、自衛的の手段として

行つた措置であつて、主として第三及び第四の方法に依る目的達成を目標としてゐるものと考へられる。

八、英國側の宣傳

之に對し英國側に於ては、帝國の眞意就中事變に對する根本的態度を理解せず

一 帝國は先づ英租界を處理し、次で銳鋒を佛國其の他の租界處理に向け、遂に各國の在支利權の閉め出しを喰はせんとするものであつて、英、米、佛等は一一致結束して日本に當らねばならぬと放送し

二 我國に對しては經濟封鎖、金融封鎖の報復手段を以て威嚇しつゝある。處が十九日、天津に於ける軍當局の聲明にも明瞭に述べて居る様に、本事件は英國一國を目標としてゐるのであつて、現に帝國と完全な協力を爲しつゝある併租界なり、比較的好意的態度をとりつゝある併租界等に對しては、十分好意を表し便宜を供與してゐるのであつて、毛頭是等を目標とするものでないのである。

又之を上海に及ぼし、全支に及ぼさんとするものであるとの推測は、全く的はづれであるが、英國側の出方次第で、前述第二の如き對敵行動をとらんとする如き場合には、自ら事件は擴大し、英の欲せざる方向に發展するの已むなきに至るであらう。事件が今後如何に進展するやは、一に英國の誠意如何に關するのである。

第二點に至つては、既に英國の一部でも危懼してゐる如く、英國自體の内部事情、屬領側の態度よりして實行困難といふべく、逆に帝國側より經濟封鎖を蒙るが如き事態が惹起せぬとも限らぬのである。即ち第二點は武力戦にまで發展する危険性を包藏するものであつて、此の決意なくしては實行不可能である。茲に至つて日獨伊軍事同盟の締結といふことが、英國としては無視し得ない重大問題になつて来る。又困難なる歐洲情勢に直面せる英國が、極東問題の爲めに多くの力を極東に割き得ないことは明瞭である。更に英本國と屬領とが極めて遠隔しあり、本國に於ては食糧すら自給することが出來ず、又軍事資源の多くを植民地に

依存せねばならぬのである。

之に反し帝國は重要資源の大部分を國內と大陸とに保有し、不足資源の一部は帝國に間近き東亞及び南洋方面に求め得られるのであつて、愈々戦争となり資源獲得の競争となれば、帝國は寧ろ有利な立場に在るのであつて、英國は致命的の危機に立たねばならぬこと、なるのである。

九、英帝國の弱點

英帝國は全世界に互り日の没することなき廣大なる領土を有し、世界第一の持てる國と稱せられ、又自負してゐるが、次の如き根本的の弱點を持つてゐることをよく認識すべきである。

第一は屬領との連絡確保の困難

英國は前回の世界大戦の際に、屬領植民地との連絡には困つたが、幸に日伊兩國を味方にしてゐたので、地中海と印度洋と太平洋の制海權を英佛側に握り、

人員と資源とを確保することが出来た。然るに現在では伊國と日本とを敵に廻すことになるので、最早や此等の海は英國の支配下にはなく、逆に地中海は伊國に、印度洋以東は日本の制壓に委せねばならぬ破目に陥つたのである。特に歐洲に於ては最近締結せられた獨伊軍事同盟に依つて脅威せられ、東亞に於ては帝國を決定的に敵側に廻すことにより、愈々八方塞がりの状態に陥らんとし
てゐる。

前回の世界大戰に於ては日伊を味方とし、日本の海軍の掩護下に在り乍ら、ロンドンでは一週間分の糧食しかなくなつた様な危機に陥つたことすらあつたといふことである。之を考へれば、現下の英國の苦惱は思半ばに過ぐるものがあるのである。

第二は日英貿易の關係である。

帝國と英本國との貿易は極めて少量であつて、大部分は英領印度、濠洲、カナダ等との貿易である。英國は二口目には必ず帝國に對し經濟封鎖をふりかざし、

國民の中には之に恐怖を感じる考もある様であるが、問題は一體英國屬領が長期に互つて日本との貿易を遮断するだけの勇氣ありやである。帝國が印度の棉、濠洲の羊毛、カナダの小麥等を買はなくなつた場合、是等を栽培して生産してゐる農民の大部分の生活は一體どうなるか。帝國より安價なる雜貨、日用品を供給せられてゐた此等の地方の民衆はどうするのか。

帝國との貿易の遮断せらるゝ如き情勢とならば、我も亦對策を講ずることになるから、英本國及び屬領相互の貿易も亦遮断せらるゝ事を考へねばならない。かゝる大犠牲を拂つて迄も、此等英國屬領は追隨し帝國に反對するであらうか。此の點に就て英國自身も多大の疑問を持つてゐるのである。

第三は戰略上の大變化の齎らす影響である。

世界大戰當時、獨逸一國の潛水艦の爲に惱まされ通してあつた英國商船は、此度はその外に優勢なる日本及び伊國海軍の活動を考慮しなければならぬ。更に世界大戰當時に比し劃期的の進歩を遂げ、英佛側のそれに比し極めて優勢な

る獨伊の飛行機の爆撃に晒されねばならなくなつた。特に獨伊兩國飛行機が本國を根據地とするばかりでなく、スペイン全土を根據地として英本國及び航海中の船舶を空襲し得るに至つたことは、戰略態勢の根本的變化と言はざるを得ない、更にアフリカに於ては伊國のエチオピア領有によつて、英領植民地を脅威する爲の根據地を確保するに至つてゐる。東洋に於ては今や海南島、廣東、新南群島等は我の手中に收むる所となり、香港やシンガポールは我が制壓下に置かれることになつてゐる。英國が如何に帝國を脅喝せんと欲しても、以上の如き嚴然たる客觀的事實に目を掩ふことは出來ないであらう。

第四は英國は佛ソを誘ひ、日獨伊樞軸に對して三國同盟を締結せんとあせつてゐるのであるが、其の核心を爲す英佛の綜合戦力就中武力が、獨伊側に比し甚しく劣勢であることである。

第五に現在の歐洲情勢は極めて逼迫して居り、萬一英國が天津問題あたりで日本と事を構へ、大國の面子を立てんとしてずる引ずられ、對日經濟封鎖、海

軍の示威等輕卒な行動に出で、日本が決然として起つた場合、英國としては引込みがつかなくなり、全く豫期せざる對日戰爭を始めねばならぬこととなる。かかる場合獨伊は好機到れりとはかり、歐洲に於て失地回復、植民地の回復に乗出すべきは火を見るより明らかである。此の如き事を老獪なる英國政治家が知らぬ筈はない。之を知つて暴虎馮河、無謀な戦を挑み來れば其の結果は知るべきのみである。

以上は天津事件の擴大した場合の英國の立場なり、情勢の見透なりを検討したのであるが、この検討に對し、帝國政府の對歐策乃至日獨伊樞軸強化の方策が、豫め決定して居た事が、非常に力強い支柱となつた譯である。

一〇、天津事件悪化の場合

茲で再び租界事件にあともどりして、英國側が飽く迄大國の面子や自己の利權に目が眩んで、帝國の政策に順應する誠意なき場合には、勢ひ事件は長期態勢と

なるの外なく、かゝる場合英國は宣傳戰と緩慢なる「眞綿で首式」の經濟壓迫で、日本いぢめにかゝるに相違ない。かゝる場合最も迷惑するのは、租界内の支那人であり、米、佛人であり、次で全天津の日本を始め各國人である。

かゝる情況とならば、必ずや不平は英國側か日本側に向けられる。日本側に向けられれば彈壓せられるといふことになれば、英國側に向けられる。而も上海に飛火することは必定である。

かうなれば、愈々英租界の問題は本格的コースに入るのであつて、事變は愈々本質をえぐることになるのである。茲で帝國國民としては是非留意せねばならぬことは、英米佛に共同戦線を張らせないことである。之が爲には今回の措置が全く英一國に對してのみ爲されたことであり、米佛等が理性を失はず、帝國に好意的であるならば、決して將來共在支利權の閉出し等を爲す意圖なきことを明らかにして、出来るだけの便宜と好意とを是等友好國に示すことである。

伊國租界の如きは、事變當初より眞に兄弟の如き親密さを以て、帝國の對支政

策に協力し來つたのであつて、此の點衷心より感謝に堪へない所であり、又此の如き態度を執る國に對しては、將來新支那の建設に當つても、必ず十分に好意ある協力を爲すべきことを周知せしむる必要がある。英國に對しても、一方に於て斷乎たる態度を持すると共に、他方外交工作に於ては、我が方針に順應せしむる機會と方法を發見せしむる様努むべきは勿論である。

斯くて英租界より抗日據點を一掃し、少くも天津に於てだけでも帝國の經濟政策に共同歩調をとらしむるを得ば、事變解決に一大進展を見せることが出来るのである。若し彼にして能て反省することなく反抗的態度を持するならば、遂に勢の激する所、實力行使にまで伸展せずとは何人も保證し得ない所であるが、帝國は國策遂行の固き決意を以て本事件に對處し、一路目的貫徹に邁進するのみである。この斷乎たる態度こそ租界問題は勿論、事變處理上にも一大迫力を加ふるの結果ともなるのである。

一一、米、佛、支、蘇の態度

一 米國の態度

- 1 米國政府當局及び一般輿論は、冷靜にして只米國人の生命財産の危険を憂慮しつゝあるに過ぎない。
- 2 天津租界問題に關し、米國政府當局の態度は目下積極的ならざるも、ワシントン始め米國に於ける新聞及び論壇の反日空氣は相當濃厚である。
- 3 犯人引渡は至當と認めてゐるが、之が他の一般租界問題に波及せば英、佛と協力帝國に不利なる態度に出づる虞がないでもない。
- 4 米國政府は依然英國に不協力の態度を持してゐる。
- 5 米國務長官は記者團との會見に於て次の如く語つてゐる。
「米政府は天津問題には直接關係はない。但し之に附隨せる事態の性質及び意義に就ては關係がある。故に米政府は該事件を興味を以て觀察してゐる。」

- 6 天津英租界に關し、駐米英大使館參事官より天津米總領事の斡旋調停方を依頼せるに對し、米國務省は不偏不黨の見解を持してゐるが、米人の不便利の見地より奔走せしむる意嚮だと答へた。
- 7 ハル長官は六月十九日始めて天津問題に關する當局の意嚮を公表し、米國は問題の根本たる犯人引渡に就ては何等關する處ではないが、支那に於ける一般外國權益問題に就ては無關心たるを得ざる旨を明らかにした。

二 重慶政府の態度

- 1 英國側が同地支那當局に犯人を引渡さんとする案に對して同意せず、考慮を要望してゐる。其の要旨左の如し。
「、、、犯人を天津當局に引渡すは、臨時政府を承認すると異らず慎重に善處せられ度」
- 2 郭駐英大使をして英側の犯人引渡拒絶方に關し嚴重に交渉せしめた。
- 3 英國に對し對日強硬態度を懇請した。

郭大使は十四日英當局に對し、「對日讓歩は在支權益の全般に波及する大問題である。故に英國は現在の立場を堅持し、米佛は共同歩調により日本に外交及び經濟上の制裁を加へんことを望む」と懇請した。

三 佛國の態度

1 天津事件に關し佛外相は顧大使に對し左の如く語つた。
「目下の處英との一致行動を聲明する必要がない。但し兩者開戦するも英、佛に出兵の餘裕はなく、其の關鍵は一に米國に在る。」

2 佛國は英國の偏狹なる政策に追従するを欲せず、官民共に英國の頑冥なる態度により迷惑を蒙ることを憤り居る状態で、天津租界當局にあつては我方の措置を克く理解し、佛租界より英租界への檢問を實施し、食料品の英租界への搬入を阻止する等、我方に協力的態度を示しつゝある。

四 蘇聯邦の態度

在支各國租界占據事件に關聯し、列國をして對日強硬策を講ぜしむべく極力裏

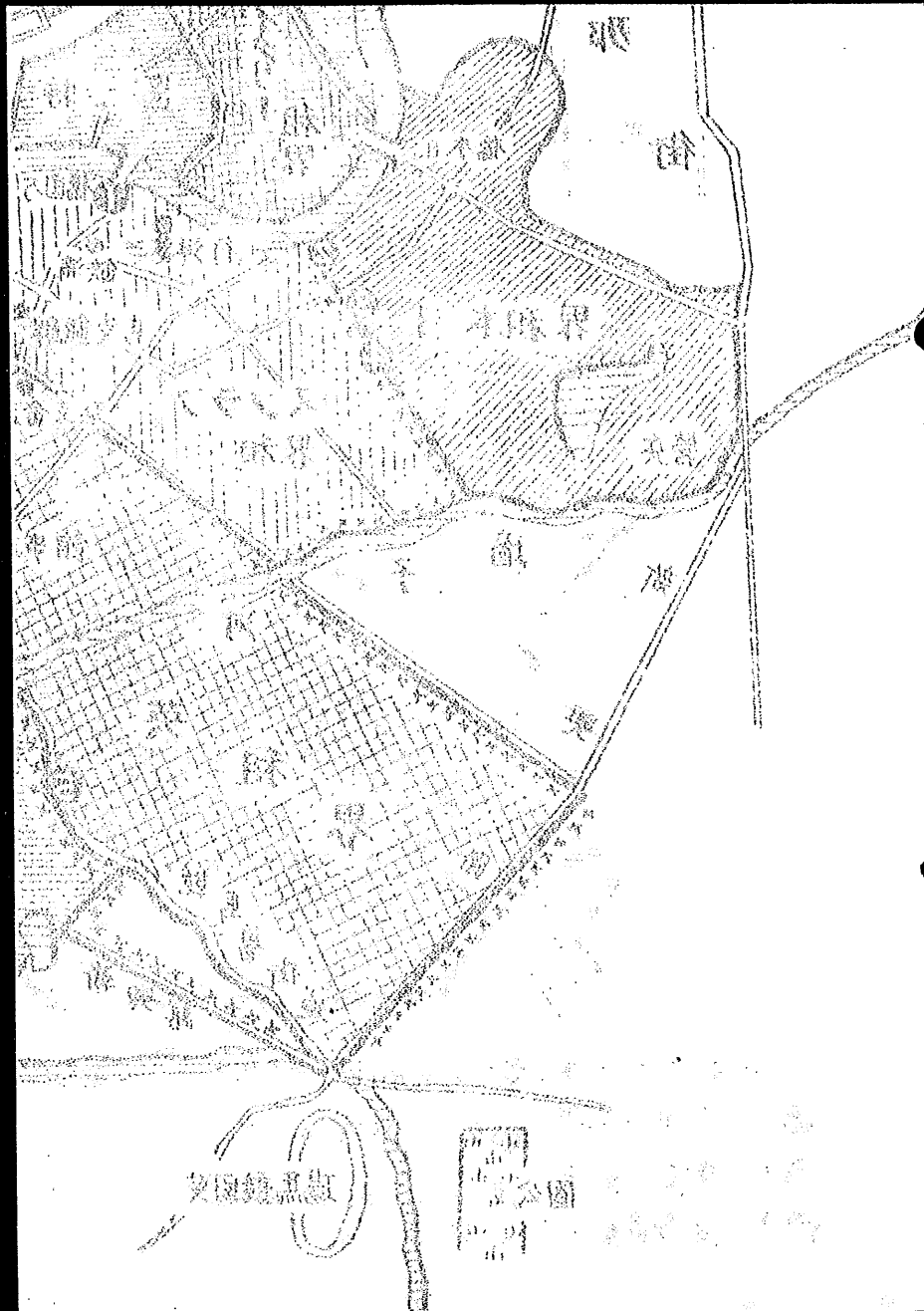
面より煽動し、各國の讓歩政策は侵略國をして益々助長せしめ、必然的に更に爾後の侵略行動を準備せしむる結果に陥らしむる點を指摘し、之を説得せんとしてゐる。

一二、租界問題に因を發する反英運動

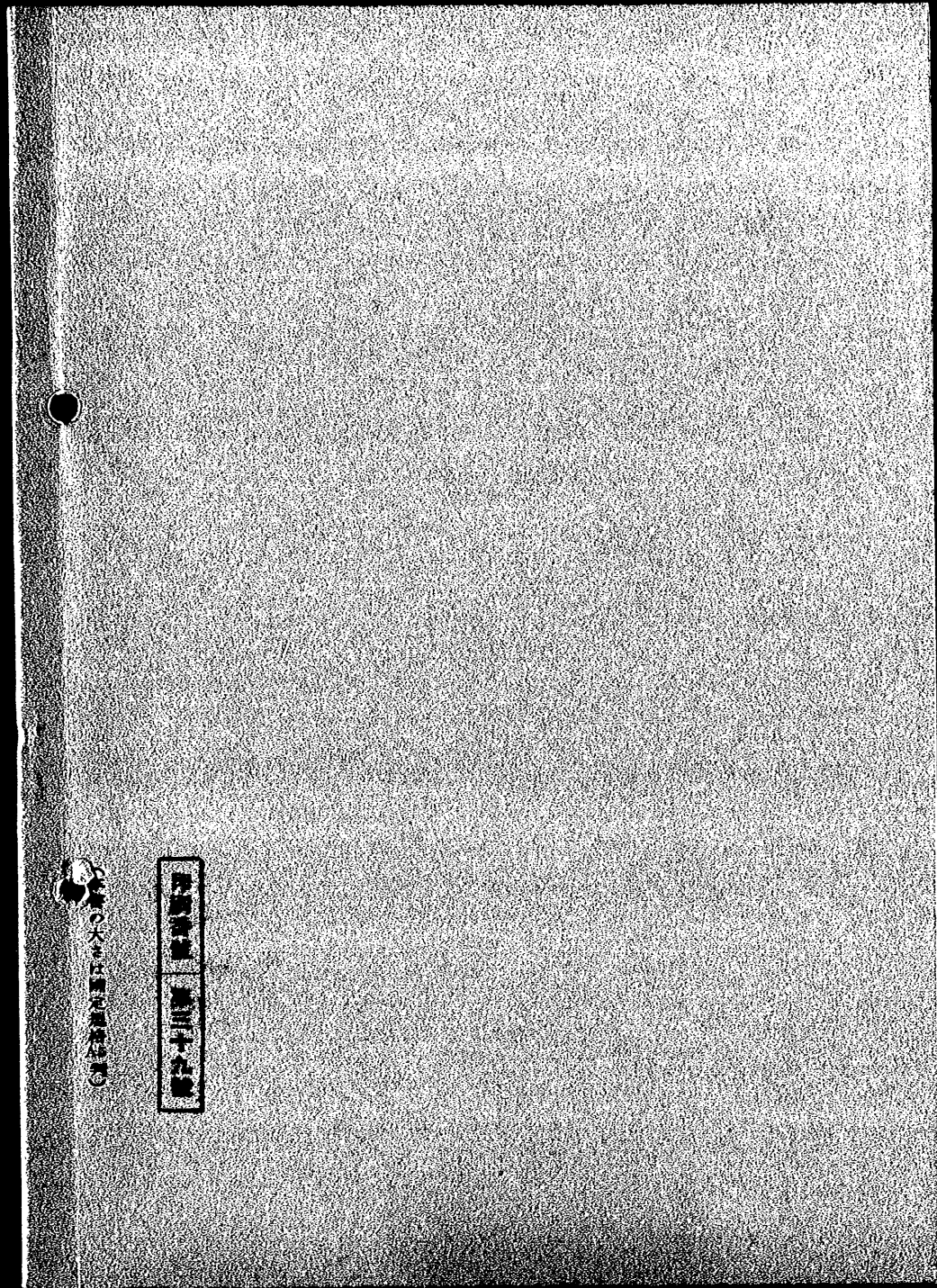
一 天津に於ける反英運動は急激に進展し、英租界内の各種團體迄反英運動に參加する状態となり、英租界碼頭附近の空氣險惡となれる爲、狼狽せる英租界當局は六月二十三日早朝より同碼頭一帯に駐屯兵巡警を多數配置し、戒嚴令を發した。又天津英總領事は、敵意ある支那暴民の大集團が集結しつゝあるとの報に接し、我方にて萬全の措置を講ずる様要請して來た。

二 六月二十三日天津に反英大會開催せられ、日本側の租界隔絶を支持する宣言を發した。

三 北支に於ける反英運動は全面的に擴大し北京、天津、太原、濟南、青島、蒙



疆の各地に於て一齊に反英大會を決行した。
四 日本内地朝鮮に於ては逐次反英熱旺盛となり、朝鮮に於ては反英大會開催せられ宣言及び決議を爲した。



この本の大きさは縦向きです

新編 漢書 第三十卷